

会 議 要 録

| | | | |
|--------------|--|--|------|
| 会 議 名 | 第28回 八王子市生活安全対策協議会 | | |
| 日 時 | 令和元年（2019年）6月25日（火） 午前10時～11時45分 | | |
| 場 所 | 八王子市役所本庁舎議会棟4階 第6委員会室 | | |
| 出席者 (敬称略) | 委 員 | 佐藤 三緒、内田 豊、井上 梓、井草 美枝子、林 智喜、 加藤 明人、久保 潤二、鈴木 麗加、内田 智、吉岡 幸造、 山村 英夫、野田 明美、一杉 昇子 | 計18名 |
| | 説 明 者 | (委員、事務局等) | |
| | 事 務 局 等 | 大野生活安全部長、福島防犯課長、安岡主査、佐藤主査、 森崎主事 | |
| 欠席者 (敬称略) | 渡邊 修一、堀 武彦、高橋 文夫、酒井 文博 (代理：國森課長代理)、櫻井 利行 (代理：比嘉課長代理) 計5名 | | |
| 議 題 | <ol style="list-style-type: none"> 1 会長及び副会長の選任について 2 平成30年度（2018年度）生活安全対策事業実績報告について【資料2】 3 令和元年度（2019年度）生活安全対策事業計画について 【資料3】 4 平成30年（2018年）における市内の犯罪発生状況について【資料4・5】 5 各警察署管内の犯罪発生傾向と対策等について 6 その他 | | |
| 公開・非公開の別 | 公開 | | |
| 非 公 開 理 由 | | | |
| 傍 聴 人 の 数 | なし | | |
| 配 布 資 料 名 | <ul style="list-style-type: none"> ● 次第 ● 資料1：最新委員名簿 ● 資料2：平成30年度（2018年度）生活安全対策事業実績報告について ● 資料3：令和元年度（2019年度）生活安全対策事業計画について ● 資料4・5：平成30年（2018年）における市内の犯罪発生状況について | | |
| 会 議 の 内 容 | (次のとおり) | | |
| 会 議 録 署 名 人 | 令和元年 9月 3日 署名人 久保 潤二 | | |

会議の内容 【 】: 発言者

1 開会【防犯課長】

2 辞令交付

生活安全部長より辞令交付

3 生活安全部長挨拶

4 事務局職員紹介

5 委員各自自己紹介

6 事務連絡【防犯課長】

- ・本協議会は年二回開催予定
- ・本日の会議出席者は規定数である過半数が出席
- ・本日は傍聴人なし
- ・会議録の扱いについては、この後選出する会長に署名をお願いする

7 会長等の選出

久保委員が会長、内田智委員が副会長に就任

議題1 平成30年度（2018年度）生活安全対策事業実績報告について

【安岡主査】

資料2に基づき説明

○質疑応答・意見なし

議題2 令和元年度（2019年度）生活安全対策事業計画について

【安岡主査】

資料3に基づき説明

○補足【防犯課長】

自動通話録音機は、250台の予算計上のところ、問い合わせが多いため台数を増大して購入予定。

○質疑応答・意見なし

【生活安全部長】

1. キッズパトロール開催案内

7月23日八王子警察署管内（大和田小学校）、7月29日南大沢警察署管内、8月27日高尾警察署管内（浅川小学校）で実施。近くに居住されていれば、機会があれば応援願いたい。

2. 最近の特殊詐欺であった事案の報告

レターパックを使用して、被害者に白い粉を送り付け、警察機関をかたり「犯罪に加担している可能性がある」という新手の手口（静岡の三島の方で被害にあったと報道）あり。市内で被害は発生していない。

【防犯課長】

自宅に詐欺の電話が来た方はいるか。

【井草委員】

総合消費料金に関する詐欺はがきが来たことはある。うっかり電話をかけて、高額をだまし取られたことがあったらしい。

【安岡主査】

防犯課や警察署にも毎日のように問い合わせは来ている。

【井草委員】

そういう時はどこに相談したらよいか。

【比嘉課長代理】

不審なものは封書もはがきも警察でよい。

【井草委員】

不動産業をやっているが、オーナーがフリースペースとして貸し出したところ、結果的には何か犯罪のアジトに使われそうになったことがある。

【比嘉課長代理】

犯罪の予兆が発見されたらためらわず通報してほしい。何かあってからでは遅いので、何も無いなら無いで構わない。110番で構わない。

【内田豊委員】

よく「お久しぶりです、お世話になっております」という件名の迷惑メールが入ってくる。本文はないが、中のURLをクリックすると様々な情報を盗まれてしまうらしいので気を付けたい。

【鈴木委員】

今年に入ってから原野商法の二次被害が多い。契約書をよく読まずに契約して、別の原野を買った（交換した）ケースなど、どうしたらよいかという相談が多い。

業者もどこかに消えており、お金が戻ってくるケースはほとんどない。自分の依頼者は八王子の依頼者が多いが、それなりに現金持っているので用意してしまう。被害にあってその弁護士相談している間にほかの相手方から接触があったり、探偵事務所にお金を払ったりし、二次被害三次被害にあって8、900万円払ってしまうケースもある。

裁判の目的はほとんど登記の抹消を目的としており、判決を取れば還付請求できるが、それでも還付の順番待ちのため、回収は難しい。

また、はがきはうちにも来た。どこから名簿が漏れているか本当に不思議である。

【井草委員】

ラインで情報を流したらよいと思う。

【鈴木委員】

一度払ってしまうと被害の回復が難しいので、いかに払わないかが大切だと思う。

それなりにいろいろチラシの配布をしていると思うが、「私は被害に遭わない」と思っている。

それゆえに銀行員や警察官に止められても払ってしまう。

【防犯課長】

はがきの話や原野商法は詐欺になるか。

【鈴木委員】

両方詐欺になる。被害届を出したりしているが、民事だと言われて受理されないことが多く、捕まらない。八王子で原野商法関係で逮捕事案はあるか。

【議長】

警察の方で原野商法の話聞くことはあるか。

【吉岡委員】

原野商法については1年半の間に相談を受けた記憶はない。そういう方は消費生活センターに聞くのではないか。

【鈴木委員】

警察で相談は受けるのか。

【吉岡委員】

生活安全相談として受ける場合もあれば、刑事の方で事件として受け付ける場合もある。

【鈴木委員】

なかなか警察に相談しても相談で終わってしまって事件化されず、告訴の受理をしてもらえたことはない。

【議長】

野田委員何か意見あるか。

【野田委員】

市内18か所の高齢者安心相談センターで消費者被害、詐欺被害防止のための講座をするようになった。

毎月の消費生活センターの便りや、防犯課の週刊の防犯メールをもとに、センターを通じて地域の方に情報提供してもらっている。

やはり、高齢者で詐欺被害に遭う方は多いということで、去年関わったケースとしては、高齢者の方が、被害に遭わないよう、「電話に出ないように、訪問した人に会わないように」と言っているが、その反面、姿を見なくなったと言われて安否確認が入ったことがあった。

電話機自体を撤去してしまったり留守番電話に設定している結果、民生委員とも連絡が取れなくなり、安否確認ができず、警察に相談して訪問したところ、結果的に安否確認ができた事案があった。時代が時代ゆえ、難しい問題である。

【生活安全部長】

引きこもりの話があるが、生活自立支援の方で何か特異事項あるか。

【一杉委員】

引きこもりなどですぐに就労が難しい方のサポートをしている。

【鈴木委員】

具体的な就労支援の内容はどのようなものがあるのか。

【一杉委員】

ケースバイケースだが、例えば50歳まで外に出たことがないという人もいるので、最初はこちらが訪問して関係を築く中で、福祉施設での就労体験などの中でコミュニケーションが取れるようになってきたりする。

若い人に関しては、まず（外に）出られるようにPCの講座などから始めて就労につなげている。

【鈴木委員】

後見人の事案を扱って、その人には50代くらいの子供がいたりするが、親の年金を頼りにしてしまっている方がいて、後見人第三者で関与すると対立的な姿勢を取られて苦慮することがある。

【一杉委員】

家族からの相談も受けているが、関与が難しく時間を要するケースもある。

【生活安全部長】

引きこもりの方を含めて、市の方でも窓口を作って就労の機会を作っている。平成27年に始まった事業で、ようやく軌道に乗り始めたばかりのため、相談からしてもらえればと思う。

議題4 平成30年（2018年）における市内の犯罪発生状況について

【佐藤主査】資料4、5に基づき説明

○質疑応答・意見【鈴木委員】

平成29年の被害額が多いのには何か理由があるのか？

平成30年も多額の被害が発生しており、前年度に比して減少してはいるが、詐欺被害にどのような傾向があるのか？

【佐藤主査】

市内だけでなく、平成29年度は全国的にオレオレが多い、被害の単価も多く、1件2~300万の案件が多い。最近では市役所の職員をかたった還付金詐欺が多く、最終的にATMに誘い出して1件当たりATMの引き出し限度額の100万程度送金させる。単価が減っている分、被害額が減っているのではないか。

【内田豊委員】

手交はしようがないと思うが、振り込め詐欺の場合、口座から犯人を紐づけ・特定するのは難しいのか。

【比嘉課長代理】

捜査はするが、用意されている口座は売り買いされたものが多く、名義と使用者（犯人）の一致がない。

お金を下ろすときに防犯カメラに犯人の画像が残るので、それをもとに犯人を警視庁管内で捜索するが、なかなか検挙に結びつかない。

【内田豊委員】

被害の通告時に、口座をすぐ凍結できないのか。またその口座は使い捨ての口座か？

【比嘉課長代理】

被害申告時はすぐしている。また、その口座は使い捨ての口座であり、凍結されたら使わない。

【鈴木委員】

振り込め詐欺救済法があるため、ただちに凍結はする。最近では借金のある人が自分の口座を貸してお金を得ることがあり、悪者に利用されることがある。あとはやはり口座を利用しない現金の手交型が多い。

【内田豊委員】

銀行の金利も低いので、家に現金で持っている人が多いのでは。

【防犯課長】

平成29年に関しては、高額被害が多かった。500万円以上の被害が10件以上など、1件当たりの被害額が多い。

【佐藤主査】

昨年一人で3000万円だまされた事案もあった。

【生活安全部長】

男性で5、6回支払っていたこともある。

【防犯課長】

最近では高額被害というものは少ない。

【比嘉課長代理】

南大沢署ははがき（消費料金をかたるもの）で少額被害が多い。

議題5 各警察署管内の犯罪発生傾向と対策等について

【吉岡委員】

警察では身近な犯罪を指定重点犯罪と定めており、特殊詐欺、ひったくり、侵入窃盗、強盗、性犯罪、自動車盗、子供に対する犯罪がこれに当たる。

これに加えて、各署が独自に重点犯罪を定める決まりとなっており、八王子警察署では車上ねらいを指定している。

市の資料では特殊詐欺被害が5月末で21件となっているが、6月25日現在では25件特殊詐欺被害が出ている（去年同月比+4件）。

また、都内で被害が出ている事案について、管内では白い粉を送り付けるパターンが八王子警察署管内で被害は発生していないものの、2件確認されている。今後も注意していきたい。

その他の指定重点犯罪はひったくり1件、侵入窃盗が38件（昨年比-19件）、強盗2件（昨年比-2件）。

性犯罪には関しては12件で4件増加だが、被疑者の検挙で余罪の判明により去年より4件増加している。

自動車用は3件（前年±0）、子どもに対する犯罪は1件（前年±0）となっている。

車上ねらいについては、今日現在管内で33件（昨年+3件）

車上ねらいも侵入窃盗も半数以上が無施錠のケースで、施錠するよう広報している。

オレオレ詐欺については、自動通話録音装置や留守番電話の設置で、物理的に犯人と接触しないように呼び掛けている。

私は騙されないと思っている人ほど騙されるということについて自覚を持ってほしい。今後も対策を続けていきたい。

【國森課長代理】

高尾警察署管内においては特殊詐欺に関しては6件（昨年同時期-14件）。

昨年は2800万円の被害だったが、今年はすでに2000万円を超えている。

今年まだ発生していなかったひったくりが5月に2件発生した。10日に散田町で軽自動車に乗った犯人が自転車の前かごからバックを窃取する事案が発生したが、これはすぐに検挙した。

また、13日に並木町のスーパー近くでバイクに乗った犯人が自転車の前かごからバックをひったくる事案が発生し、発生直後に警戒と注意喚起を行っている。

また、登戸における先般の事件を受け、高尾駅前のスクールバス発着場での警戒を実施している。

【比嘉課長代理】

町田市と八王子市の2市にかかるため、南大沢警察署管内での八王子市内の犯罪発生状況について説明する。

1月から6月24日までの刑法犯認知件数は約56件（昨年同時期比-89件）、南大沢署開署以来減少傾向である。万引きや自転車盗などの非侵入窃盗は-40件と大幅減少している。減少要因については、全国的な刑法犯認知件数の減少に加え、防犯協会や母の会などの各種関係機関の活動が功を奏していると思われる。詐欺に関しては27件（昨年比-18件）となっている。

暴行傷害脅迫等の粗暴犯については微増している。

特殊詐欺については八王子市内で14件発生し管内で一月に8件連続で被害が発生したため、緊急対策として警察官が管内の全戸訪問して啓発を行っている。

詐欺の電話は毎日かかってきており、一例としては、電話で警察官をかたり「あなたのカードが犯罪利用されているので警察官を送ります。」などと言うもの。電話に出ないことがやはり有効と考えているので、自動通話録音機の設置などを推進している。

1件でも被害防止できたらと思い対策に取り組んでいる。

○質疑応答・意見【防犯課長】

粗暴犯が微増していると報告があったが、市としても暴力事案に対応するべく、職員に合気道やさすまたを利用した護身術など危機管理研修を行っている。

【加藤委員】

東海道新幹線の事件を受けて、JR各駅にさすまたと防刃チョッキ、催涙スプレーを配備し、お客様と社員の安全を守る備えをしている。

また、八王子警察署に依頼して身を守る講習会を実施している。

【林委員】

主要な駅ではサスマタを配備をして、小さめの駅では防刃の盾などを配備し、自分の身を守ることにもさることながらお客様の安全を守るため対策している。また、アルソックなどから各駅の駅員が警備講習を受けている。

【生活安全部長】

サスマタも使い方がわからないと使うのが難しい。

【加藤委員】

いきなり使うとなっても難しいし、狭い所だとなおさら使うのが難しい。

議題6 その他

【佐藤委員】

小学校の近くに住んでいるので、一市民として、昨今の事件を鑑みて子供の安全についても考えたいと思っている。

北野台の自治会は登下校時の見守りをしている。高齢者が多いので、犬の散歩などと一緒に見守りしてもらえると人の目があることを周囲にアピールでき、犯罪発生を抑止につながると思う。

【安岡主査】

特に北野台はわんわんパトロールなど、「ながらパトロール」してもらっていると思う。私たちも「ながらパトロール」を推奨しているが、地域の個人のみでは限界があると思うので、子供の下校の時間帯に買い物や散歩に行くなどといった「ながら見守り」をお願いしている。防犯課が配布している支援概要においてもその点について触れている。

あと、市としては青パトが下校時間中に市内全小学校を巡回しており、見せるパトロールに力を入れているところである。

高尾警察の話でもスクールバスの話があったが、これからも子ども見守りについて力を入れていきたい。

【議長】

日本文化大ボランティアサークルの会員として井上委員が各種パトロールに参加しているが、何か意見はあるか。

【井上委員】

いつも怖いと思う場所がある。三崎町の辺りは黒服がいて、女性に対しては声はかけてこないとは思うものの一人で通るには怖いと思うことがある。

【生活安全部長】

この条例を作った平成 14 年あたりは、八王子市は西の歌舞伎町などと揶揄された時代もあったが、そのころに比べると今は大分改善された。ただ、警察の立ち入りで店を辞めさせても同じような店が次に入ってくるのでたちごっことなっている。

また、井上委員に聞きたいことがあるが、デート DV やデート詐欺などにあったという人が周りにいるか、または聞いたことはあるか。

【井上委員】

私の周りでは聞いたことがない。

【佐藤委員】

八王子の改札のコンコースに黒服がいた。改札の前にはいないが、店の前でやっているようだ。

【防犯課長】

平成 26 年の 6 月からは町会商店会の方を市民指導員として客引きのパトロールに協力してもらっており、その協力もあって、昔に比べたら減っている状況ではある。

【生活安全部長】

ユーロードを夕方通ると「客引きは禁止」という旨の音声が流れている。日本工学院八王子専門学校の協力を得て作成した。一度聞いてもらいたい。

【防犯課長】

次回の協議会は 2 月を予定している。本日の会議録については後日送付するので確認されたい。

以上